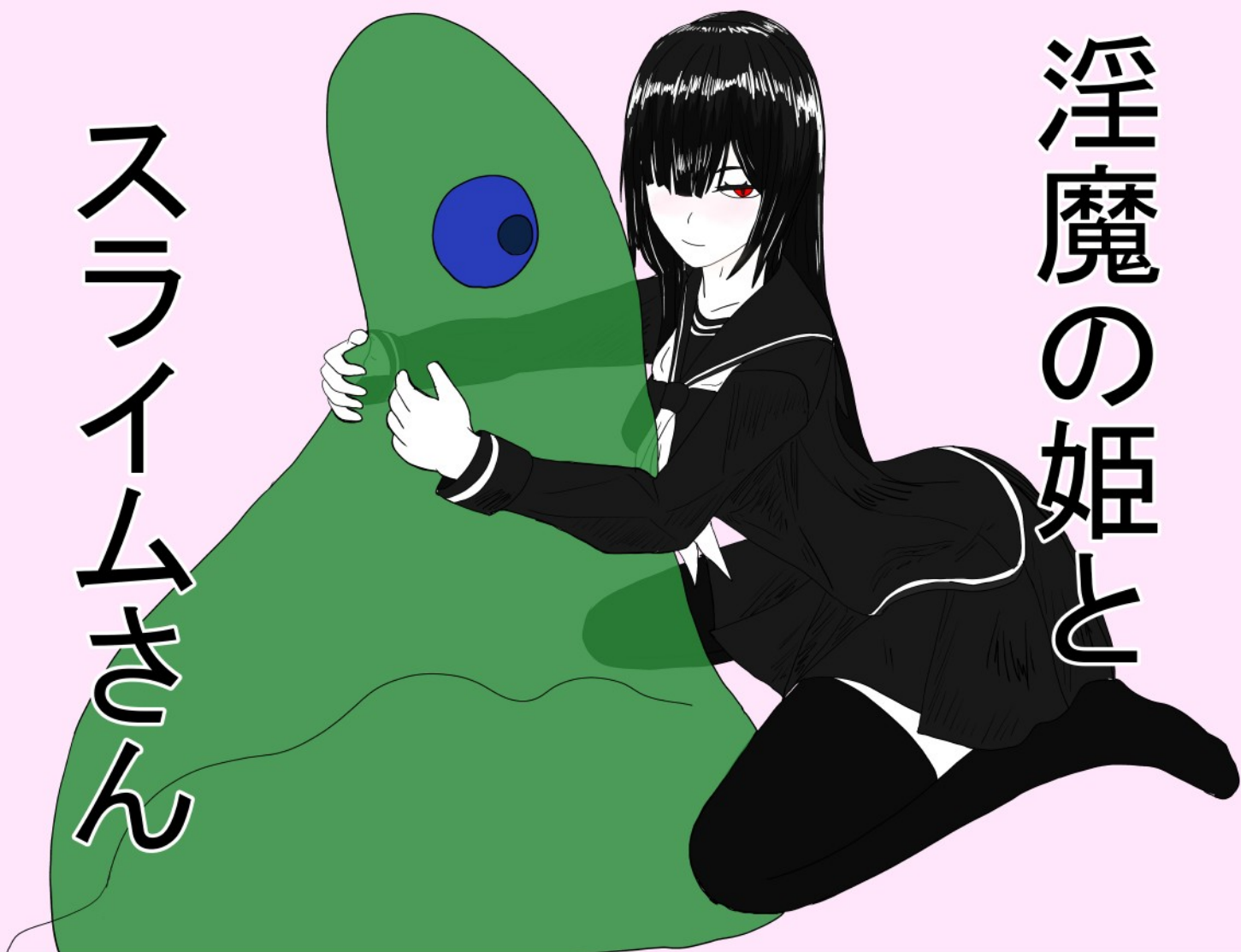
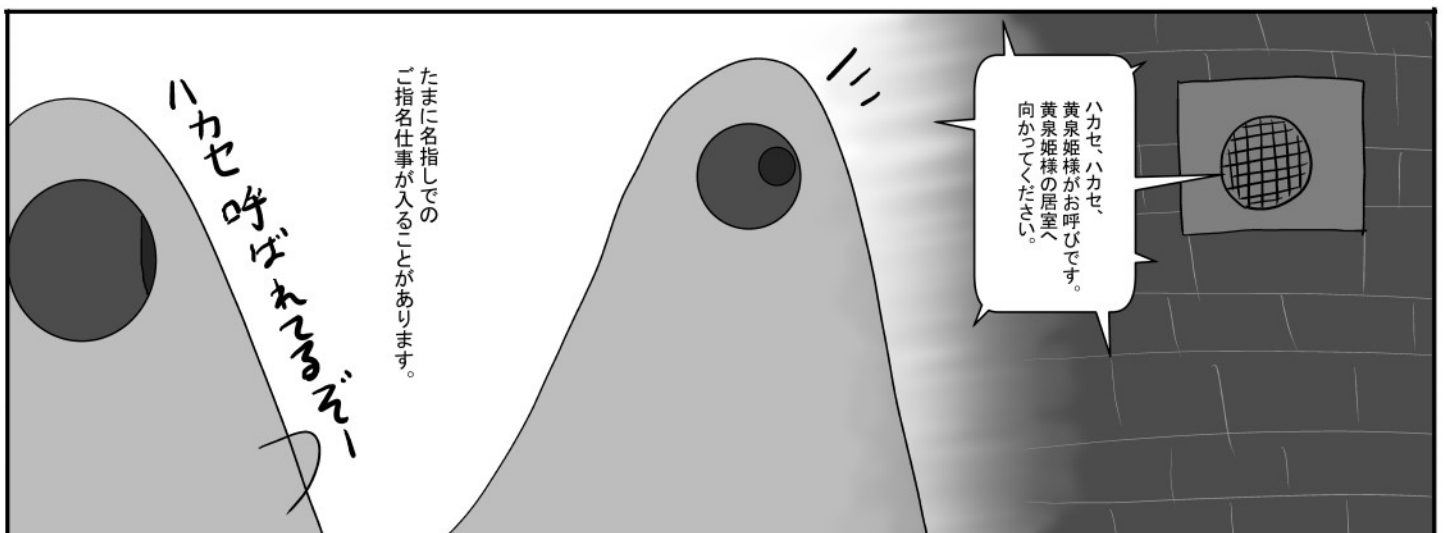
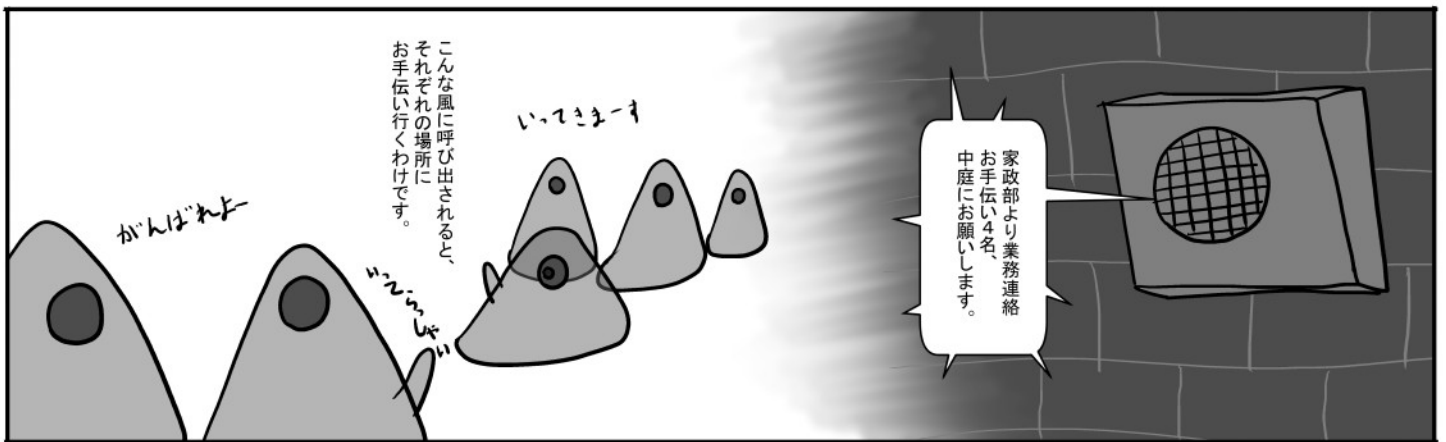
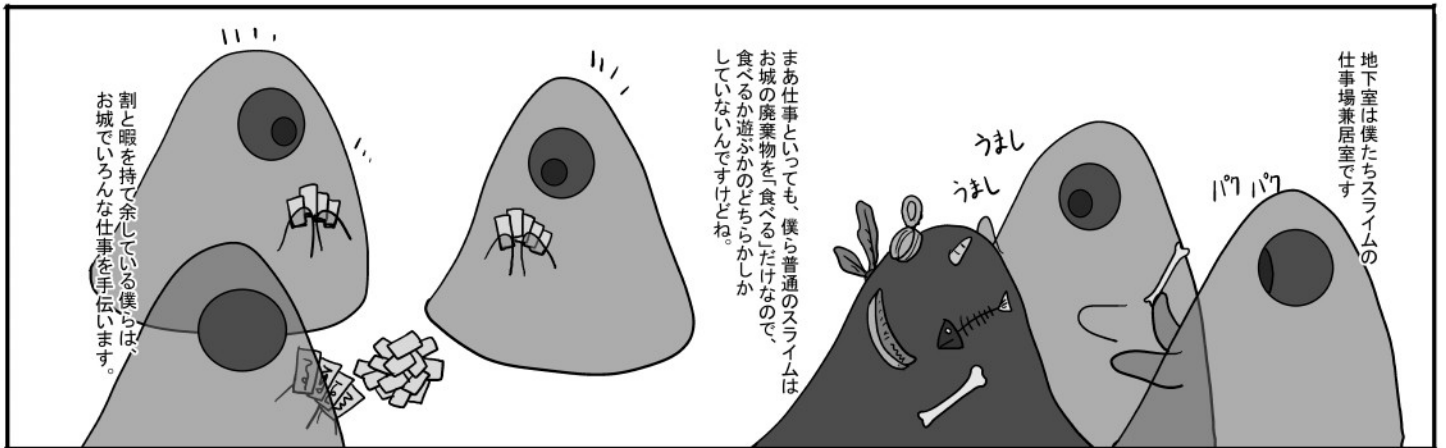
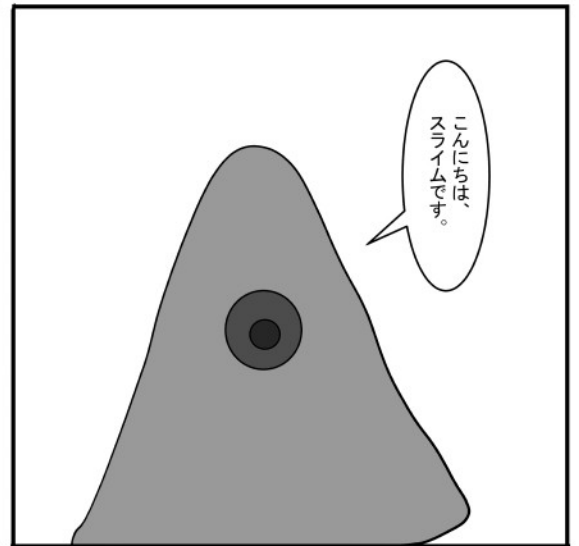
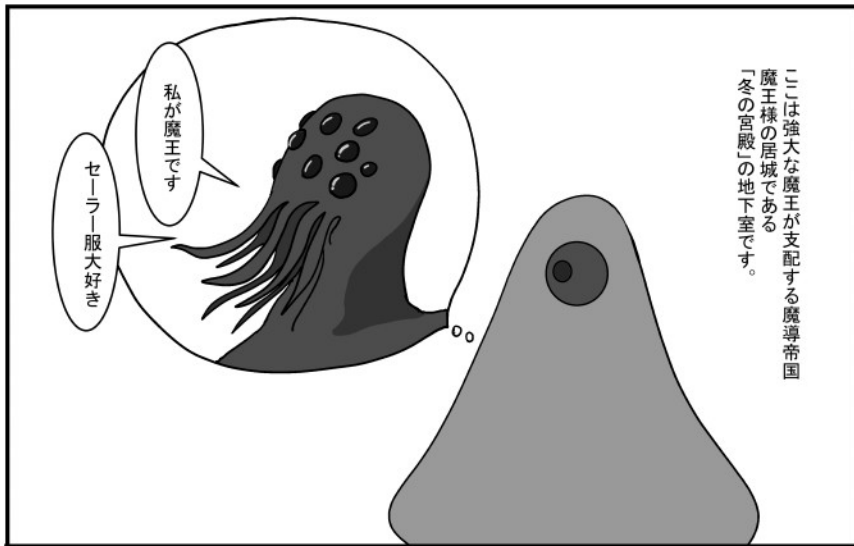


淫魔の姫と

スライムさん





今ハカセを呼び出した黄泉姫様は、
魔導帝国の大幹部の一人で、
淫魔族のお姫様です。

長くてサラサラの黒髪と、
強い魔力を持つもの特有の
赤い瞳がとってもきれいな方です。

噂によると500年の間に
7か国を滅ぼした
「傾国の美女」だそうです、

僕らにとっては一緒に遊んだり
食事をしたりしてくれる、
とても優しい方です。

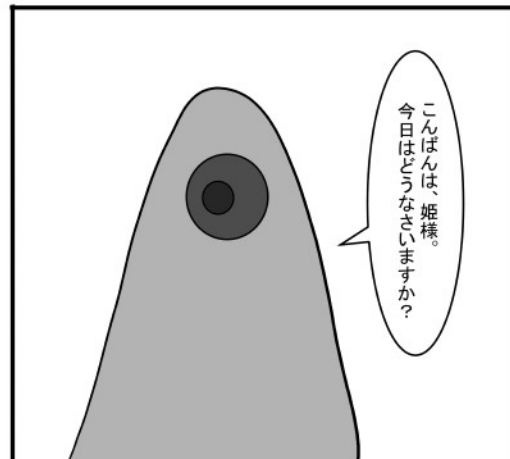
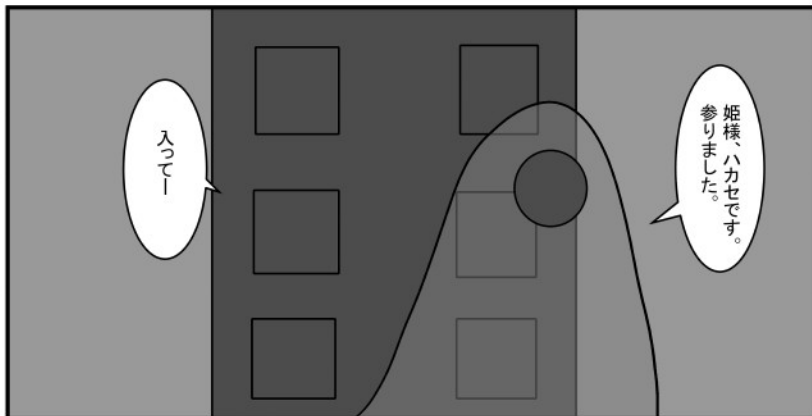
魔導帝国の女子制服
魔王様が勝手にセーラー服に決めた。
ちなみに男用の制服はない。

スライムは「ごみ処理などをするため、
「汚くて下等」な魔物だと
馬鹿にされることが多いのですが、

シーナちゃん
元気で優しいエルフの狙撃手。
よく僕たちと遊んでくれます。
黄泉姫様の恋人でもあります。

黄泉姫様が僕たちと仲良く接してくれるおかげで
エルフやドラゴンなどの「高貴」な種族の方も
気軽に、そして丁寧に接してくれるようになりました。

僕たちスライムはみんな
黄泉姫様が大好きです。





彼にいじられるのが嬉しい。
彼に責められることに激しく興奮する。

ハカセ…
私もうっちゃいそうだよ……!

おや、今日は早いですね？
いいですよ、
遠慮なくいつて下さい。



いく……!!
いくいくいく!!

あるとき、戯れに彼に激しく「いじめて」もらったとき
私は今まで感じたことのない深い絶頂を味わった。

その時から、彼とのプレイは私のマゾヒスティックな欲望を満たすためのモノとなった。

男性の性欲を満たすためのプレイではなく、ただ私を痛めつけるためだけに行われるプレイ。

はぁ... はぁ... はぁ...

はぁ... はぁ... はぁ...

私のためだけに行われるそれに、私は大きな喜びを見出していた。

フタ...

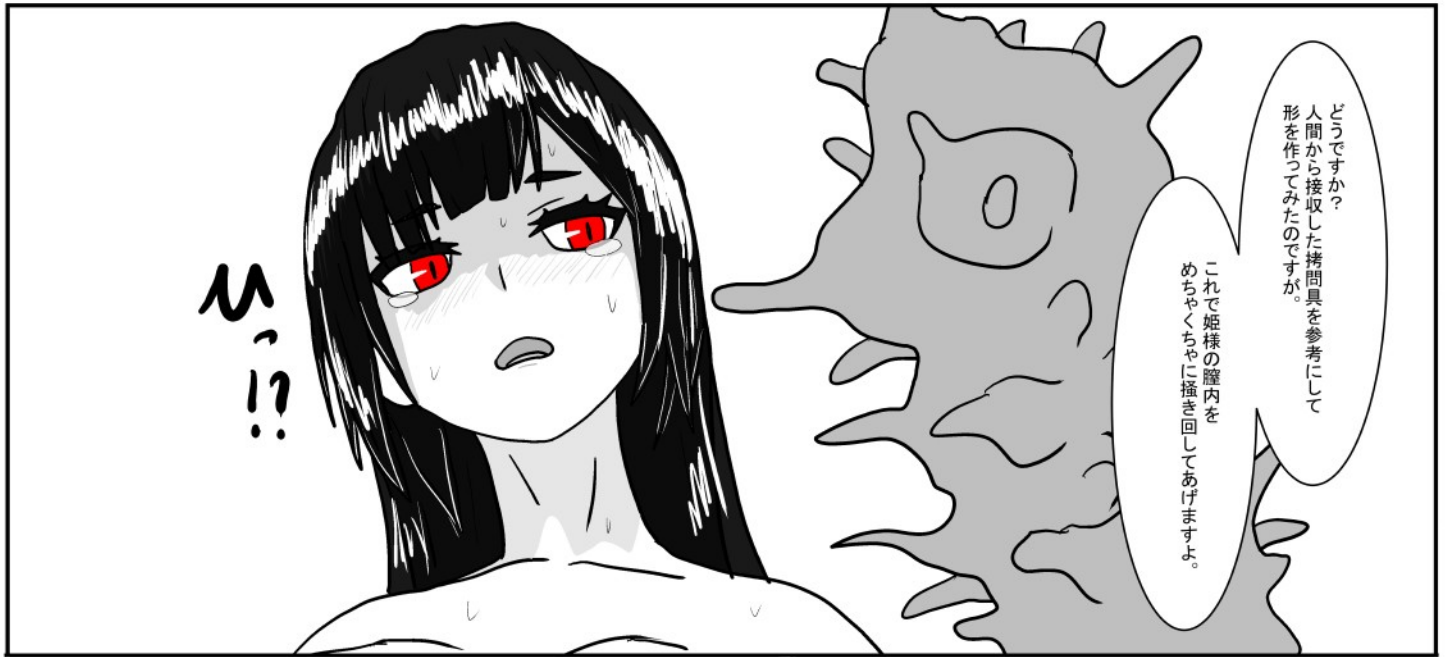
それでは姫様、始めましょうか。
服を脱いでください。

は...











姫様たくさんいきましたね。
次は何しましょうか？
またお尻を使ってみますか？

私は彼を信頼し、
体を完全に預ける。

彼は私の信頼に完全に応えてくれる。
私は意識を失う直前まで、
彼の与える苦痛と快楽に身を預けるだけで良いのだ。

はあー
はあー

はー
はー
はー
はー









姫様の大好きな拘束状態で
捌けてあげますからね。

遠慮なくよがってくださいね。







